



令和5年3月17日

各 位

会 社 名：新都ホールディングス株式会社
代表者名：代表取締役社長 鄧 明輝
(コード番号：2776 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 半田 紗弥
電 話 03-5980-7002

2023年1月期（令和5年1月期）通期業績予想との差異に関するお知らせ

令和4年12月14日に公表いたしました、令和5年1月期連結業績予想（令和4年2月1日～令和5年1月31日）と、本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 令和5年1月期通期連結業績予想と実績値の差異（令和4年2月1日～令和5年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,560	百万円 △52	百万円 37	百万円 15	円 銭 0.55
実績値（B）	4,019	△209	△198	△212	△7.57
増減額（B－A）	△541	△157	△235	△227	△8.12
増減率（％）	△11.9	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （令和4年1月期）	4,769	44	15	64	2.53

2. 差異の理由

当社グループは、総合リサイクル企業として、プラスチック再生資源、廃金属商材関連製品（主にアルミニウム）の輸出事業を軸に事業規模拡大に努めてまいりました。こうした中、当社の主力取引国である中国の新型コロナ感染拡大防止に向けたロックダウンが、9月下旬以降10月下旬に至るまで中国全土の50を超える都市に拡大しました。これにより、当社グループの主力となるプラスチックおよび金属事業におきましても、流通市場の後退や輸出の鈍化を余儀なくされ、加えて原材料の調達コスト並びに光熱費等の高騰が加わり、期初に予定した売上並びに利益の達成が困難な状況に陥って令和4年12月14日に通期業績修正の発表をいたしました。

当社では、主要市場である中国において令和4年12月上旬にゼロコロナ政策が緩和されたことをうけ、販売数量の回復を見込んでおりましたが、その後の中国国内におけるコロナ感染者の急増により、取引先企業の業務が事実上停止する事態となった影響から、第3四半期時点で見込んでいた金属再生案件の販売が次年度にずれ込むなど販売数量が想定を下回り、売上高は前回の予想値を下回りました。

売上高の減少に加え、原材料価格の高騰、物流費、電気代をはじめとするエネルギーコストの急上昇に伴い、原価、販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も予想を下回りました。

以上